

和泉地区副所長

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学情報科学センター 公開日: 2009-04-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 哲也 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/4301

和泉キャンパスに念願の新教育棟が建設される。この新教育棟については当初からメディア環境の充実が目指されていたため、和泉地区情報科学センターおよび和泉システム課がその基本プラン立案に積極的に参加してきた。和泉委員会および和泉地区新教育棟建設促進委員会が中心となって建築プランの作成が進められたが、情報セクションの考え方をとりいれていただき、大胆なコンセプトを打ち出すことができたのではないかと思います。最終的に、和泉キャンパスの考え方は、基本的には、ご承認いただけた。関係各部署・各位には、心から感謝したい。

和泉新教育棟の基本プラン作成にあたっては、駿河台のリバティータワー建設の際に情報セクションから提起されたと聞いている「ワンストップ・サービス」というコンセプトを根本にすえた。さらに、和泉キャンパスにおける教育・研究活動をいっそう活性化させるために、学生・教員・サポートスタッフのコラボレーションを促進すべきであると考え、三者が使用するスペースを近接させることにも配慮した。明治大学の情報セクションに由来からあった基本思想を受け継ぎ、そこからさらに一歩を踏み出したプランを作りあげ、組織の継続性と創造性を示したいとの一念を抱きながら、和泉地区のスタッフは基本プラン作成に力をそそいできたと思う。心から感謝申し上げる。

もちろん、所属キャンパスなどには関係なく、様々なご支援をいただいた。ありがたかった。仕事を進める過程で感動を覚えることさえあった。決して大げさな表現はしていない。

しかしながら、完成後、新教育棟が期待どおりに機能するかどうか、今でも、大いに不安である。さらに、新教育棟の諸設備を活用しその真価を発揮するためには、まだまだやらなければならないことが山積している。勝負はこれからだな、と思っている。